

## 2017年度 大学全体 自己点検・評価報告書

## [第2章] 内部質保証

## (1) 現状説明

点検・評価項目①：内部質保証のための全学的な方針及び手続を明示しているか。

## 評価の視点

- 下記の要件を備えた内部質保証のための全学的な方針及び手続の設定とその明示
- ・内部質保証に関する大学の基本的な考え方
  - ・内部質保証の推進に責任を負う全学的な組織の権限と役割、当該組織と内部質保証に関わる学部・研究科その他の組織との役割分担
  - ・教育の企画・設計、運用、検証及び改善・向上の指針（PDCAサイクルの運用プロセスなど）

本学は、建学の精神に基づいて設定された「第Ⅱ期中期目標（2014～2017年度）」（資料B-1）の中で、「教育」「研究」「社会貢献」「国際貢献」「管理・支援体制」の5つの重点実施項目について、「今後本学が取り組むべき課題」とした。この中期目標は、学部長会議・大学院運営会議・研究所運営委員会ならびに大学部長会などの場で部門長に伝えられる。この中期目標について、大学全体ならびに各部門における課題設定・目標・達成度について点検・評価するために、学長の諮問機関として「大学評価委員会」（資料B-2）を設置した。年度ごとの自己点検評価を全学的に実施することで、内部質保証の体制を実現することが可能であると考え。これらについては、大学Webサイトで公開されている。（資料B-1～4）

内部質保証に関わる全学的組織は「東海大学自己点検実施体制図」（資料B-5）に示され、学長の強いリーダーシップのもとに、大学評価委員会、各部門長をはじめとする委員会等が置かれている。とくに大学評価委員会のメンバー（資料B-6 2017年度大学評価委員名簿）には、大学運営本部長・副本部長が含まれ、審議の過程を含めて学長の下にある大学運営本部が直接把握できる組織体制となっている。大学運営本部大学IR室は事務局となつて、大学評価委員会が推進する点検評価の作業に関して全体的な取りまとめを行っている。

実際のPDCAサイクルとして、大学が設定した「中期目標」に基づき、学部・研究科、センター、研究所、事務部門のそれぞれにおいて、ミッション・シェアリング・シート（本学における部門単位の目標設定シート：以下MSシート）（資料B-7）が部門長を中心に作成され、この中で設定した課題およびその実施状況について、各部門の評価委員会で自己点検が行われている。さらに各部門が作成したMSシートは、全学的な大学評価委員会において点検評価される。その結果は、推奨または是正すべき事項が各部門にフィードバックされ、PDCAサイクルが運用される体制にある。（資料B-5）

点検・評価項目②：内部質保証の推進に責任を負う全学的な体制を整備しているか。

## 評価の視点

- 内部質保証の推進に責任を負う全学的な組織の整備
- 内部質保証の推進に責任を負う全学的な組織のメンバー構成

学長の強いリーダーシップの下、全学的な東海大学自己点検実施体制が整備され、学部・センター・事務部門の教職員をメンバーとする大学評価委員会（資料 B-6）が設置されている。さらに、各部門においても部門長を中心とした評価体制が整備されている。（資料 B-5）

**点検・評価項目③：方針及び手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能しているか。**

**評価の視点**

- 学位授与方針、教育課程の編成・実施方針及び学生の受け入れ方針の策定のための全学としての基本的な考え方の設定
- 内部質保証の推進に責任を負う全学的な組織による学部・研究科その他の組織における教育のPDCAサイクルを機能させる取り組み
- 行政機関、認証評価機関等からの指摘事項（設置計画履行状況等調査等）に対する適切な対応
- 点検・評価における客観性、妥当性の確保

本学では、「教育研究上の目的及び養成する人材像」を次のように定めた。『若き日に汝の思想を培え、若き日に汝の体軀を養え、若き日に汝の智能を磨け、若き日に汝の希望を星につなげ』という創立者の精神に基づき、明日の歴史を担う強い使命感と豊かな人間性をもった人材を養成する。さらに、グローバル化し、価値観が多様な現代社会にあっては「常に 未来を見据え自らが取り組むべき課題を探求する力（自ら考える力）」、「多様な人々の力を結集する力（集い力）」、「困難かつ大きな課題に勇気をもって挑戦する力（挑み力）」、「失敗や挫折を乗り越えて目標を実現していく力（成し遂げ力）」を身につけた自主的・創造的人材の輩出をもって、調和のとれた文明社会を建設することを本学の使命・目的とする。この理念を実現するために、大学全体としてアドミッション・ポリシー（学生の受け入れ方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）の3つのポリシーを策定した。この基本的な考え方を踏まえて、すべての研究科・学部においても、3つのポリシーを制定した（資料 B-8）。

内部質保証の推進には、全学的な組織であり、かつ学長の諮問を受けた大学評価委員会が大きな責任を負っている。この大学評価委員会の下には、教員の研究教育の資質向上を目的とする総合的業績評価委員会・学部等研究教育補助金評価委員会がある（資料 B-9）。また、大学院研究指導教員資格再審査委員会も、大学院において高いレベルでの研究教育ができるよう、3年に1度のタイミングで資格審査を行っている（資料 B-10）。大学運営本部大学 IR 室が事務局となって、先に示した MS シートを各部門および大学評価委員会において点検評価され、教育のPDCAサイクルを機能させている（資料 B-11）。

文部科学省からの「設置計画履行状況報告書」などの指摘事項については大学運営本部高等教育室が対応しており、「設置計画履行状況報告書」は大学 Web サイト上で公表している（資料 B-12）。また、大学基準協会による認証評価も採り入れており、指摘事項を受けた際には可及的速やかに改善を済ませている（資料 B-3）。

点検・評価における客観性および妥当性を確保するために、大学評価委員会では異なる所属かつ複数以上の委員による相互の点検評価を行う体制としている（資料 B-6）。

**点検・評価項目④：教育研究活動、自己点検・評価結果、財務、その他の諸活動の状況等を適切に公表し、社会に対する説明責任を果たしているか。**

評価の視点

- 教育研究活動、自己点検・評価結果、財務、その他の諸活動の状況等の公表
- 公表する情報の正確性、信頼性
- 公表する情報の適切な更新

本学は、企業と同様に大学は社会的責任を負わなくてはならないと考えている。2006年に、本学はUSR（University Social Responsibility：大学による社会的責任）を果たすことを掲げるとともに、これを推進してきた（資料 B-13）。教員は研究・教育・学内外運営の3分野の活動・成果について、教員活動情報システムに登録する（資料 B-14）。ここに入力されたデータの妥当性は、部署・部門の評価者によって2段階の承認作業を経て、公開データとして登録される（資料 B-15）。これらのデータを基に、総合的業績評価システムによって、それぞれ5段階で自己評価を行い、それを各部門の評価委員会が他者評価を行っている。各部門における評価基準は、全学的な大学評価委員会からの諮問を受け、総合的業績評価委員会で点検される（資料 B-16、17）。これらの教員活動情報は、個人情報などを除き、教員活動情報検索によって外部から教員氏名、研究活動、知的所有権について、検索文字列より検索することができる（資料 B-14）。また、MSシートなどを基に作成した自己点検評価については、年度が終わると東海大学教育研究年報にまとめ、次年度に大学オフィシャル Web サイト上や CD-ROM で外部に公表している（資料 B-18）。

大学オフィシャル Web サイトでは「情報の公開」として、社会貢献活動や大学間連携などの諸活動の公開とともに、学校法人東海大学の事業報告書の中で財産目録・賃借対照表・収支計算報告書・監事の監査報告書を掲載し、毎年更新している（資料 B-19）。

**点検・評価項目⑤：内部質保証システムの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。**

評価の視点

- 全学的なPDCAサイクルの適切性、有効性
- 適切な根拠（資料、情報）に基づく内部質保証システムの点検・評価
- 点検・評価結果に基づく改善・向上

内部質保証システムとして、「MSシート」ならびに「自己点検報告書」による点検・評価を毎年実施し、大学評価委員会においてチェックし、フィードバックすることで、全学的なPDCAサイクルを実施している（資料 B-11）。これらの作業には根拠資料が添付され、できるだけ定量的な情報を基に進捗管理が行えるよう運用されている。根拠資料を客観化することで、点検・評価の適切性・有効性を高めている（資料 B-7）。学長からの諮問を受けた大学評価委員会は、学長・副学長が中心となって構成される大学運営本部会議の場で、委員長より直接答申が伝えられ、議論・討論し対応している。これにより、学長によるガバナンス体制が効果的に働く組織体制を実現している（資料 B-2）。

## (2) 長所・特色

2017年度の本学における改革事業に伴う組織変更として、文部科学省の「地（知）の拠点整備事業（大学COC事業）」の一環として立ち上げられた「To-Collabo推進室」を「地域連携センター」に改称した。その下部組織として「地域連携課」を新設するとともに、生涯学習講座の実施を司る「エクステンションセンター」の業務を移管した。わかりやすい名称となると同時にスタッフ数が増員され、地域と密接したより多くの連携事業を行えるようにした（資料B-20）。また、主に学内の視聴覚施設を担当する事務部「業務管理課」を廃止し、教育環境を一体で整備し提供する教育支援センター「技術支援課」に移管するといった組織変更を行った。

## (3) 問題点

2017年度に行われた大学基準協会による認証評価受審の際に、特に大学院において「アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーの整備と検証体制、および研究指導計画の学生への明示等について課題を残している」との指摘を受けた。そこで2017年度内に、工学研究科を中心に3ポリシーの改定案を作成し、これを検証した（資料B-21）。この結果を基に、2018年度にはすべての研究科で改訂作業を終える計画である。

## (4) 全体のまとめ

本学における内部質保証体制を強化するために、2018年度カリキュラム改定にともない、実践力をチェックする「4つの力アセスメントテスト」（資料B-22）、ならびに英語力を調べる「GTEC」を新入生全員に対し実施することを決めた（資料B-23）。これは卒業時まで複数回行われ、学生の学習成果を可視化するひとつの手段として新たに活用することとなる。2017年度までは、MSシートを活用した点検評価体制を行ってきたが、2018年度からは第Ⅲ期中期目標を1年前倒しで設定し、MSシートは事業計画書に置き換え、さらなる点検評価体制を強化することとした（資料B-24）。

## (5) 根拠資料

B-1 第Ⅱ期中期目標

[https://www.u-tokai.ac.jp/effort/activity/middle\\_aim/index2.html](https://www.u-tokai.ac.jp/effort/activity/middle_aim/index2.html)

B-2 東海大学大学評価委員会規程

B-3 東海大学オフィシャルサイト 自己点検評価

[https://www.u-tokai.ac.jp/effort/activity/self\\_assessment/](https://www.u-tokai.ac.jp/effort/activity/self_assessment/)

B-4 東海大学オフィシャルサイト 本学における自己点検評価活動

[https://www.u-tokai.ac.jp/effort/activity/self\\_assessment/activity/](https://www.u-tokai.ac.jp/effort/activity/self_assessment/activity/)

B-5 東海大学自己点検実施体制図

B-6 2017年度大学評価委員名簿

B-7 ミッション・シェアリング・シート（MSシート）サンプル

B-8 東海大学オフィシャルサイト 教育研究上の目的及び養成する人材像、3つのポリシー

<https://www.u-tokai.ac.jp/about/policy/>

- B-9 大学 I R 室ホームページ大学評価委員会
- B-10 東海大学大学院研究指導教員資格再審査規程
- B-11 大学 I R 室ホームページ自己点検評価活動
- B-12 東海大学オフィシャルサイト 学部、研究科等に係る「設置申請・届出書」および「設置計画履行状況報告書」  
[https://www.u-tokai.ac.jp/public\\_information/installation.html](https://www.u-tokai.ac.jp/public_information/installation.html)
- B-13 東海大学オフィシャルサイト チャレンジセンター USR 型社会貢献  
<https://www.u-tokai.ac.jp/effort/activity/challenge/about/usr.html>
- B-14 教員活動情報検索 <https://www24.tsc.u-tokai.ac.jp/kyn/!kyk0010>
- B-15 東海大学教員活動情報登録規程
- B-16 東海大学総合的業績評価規程
- B-17 東海大学総合的業績評価制度運用基準
- B-18 東海大学オフィシャルサイト 教育研究年報  
[https://www.u-tokai.ac.jp/effort/activity/annual\\_report/](https://www.u-tokai.ac.jp/effort/activity/annual_report/)
- B-19 東海大学オフィシャルサイト 情報の公表  
[https://www.u-tokai.ac.jp/public\\_information/](https://www.u-tokai.ac.jp/public_information/)
- B-20 東海大学オフィシャルサイト 地域連携センター  
<https://www.u-tokai.ac.jp/effort/activity/extension/>
- B-21 第1回3つのポリシー検討プロジェクト会議\_会議録
- B-22 Web ニュース「4つの力」のアセスメント学生向け開設会開催報告
- B-23 英語プレースメントテスト (GTEC) について
- B-24 2018 年度第2回学部長会議資料抜粋